

解 答	1 (D)	2 (D)	3 (D)	4 (B)	5 (C)	6 (A)
	7 (C)	8 (D)	9 (D)	10 (D)	11 (B)	12 (A)
	13 (B)	14 (A)	15 (C)	16 (B)	17 (D)	18 (C)
	19 (C)	20 (B)				

1. 「がまんしてください。大統領はあと少しで到着すると約束しますから」

▶ これから起こることを約束しているので、未来の予定を表す(D)が適切。

□ **be going to do (=will do)**

① 「～しそうである/確実に～だろう」 [根拠に基づく予測・判断]

Look at those black clouds. It **is going to rain** very soon.

(あの黒い雲を見てごらん。今にも雨が降りそうだ。)

② 「～するつもり[予定]である」 [話し手の意図・予定・計画]

I've lost my watch, so I'm **going to buy** one tomorrow.

(時計をなくしたので、明日ひとつ買うつもりです。)

2. 「お父さんはまた残業ね。お父さんが帰ってきたときには夕飯が冷めてしまっているわね」

▶ by the time ~は「～するまでには」という意味の接続詞の働きをする。したがって、主節は(D)の**未来完了形**が適切。

□ **by the time** ~「～するまでには」 [完了の期限]

▶ until[till]「～するまで(ずっと)」 [動作や状態の継続]と混同しないように。

I will be back **by the time** you leave. (君が帰るまでには戻ります)

I will be here **until** you leave. (君が帰るまでずっとここにいます)

3. 「兄が日本を発ってから1年になります」

▶ 「…してから～年になる」の表現の一つである。

□ **時間 + have[has] passed since + S + 過去形** 「Sが～してから…になる」

Three months **have passed since** she started for New York.

(彼女がニューヨークに発ってから3ヶ月が過ぎました。)

『Sが～してから(時間が)…になる』の書き換え

① It is[has been] + 時間 + since + S + 過去形

② 時間 + have[has] passed since + S + 過去形

③ S + 過去形 … + 時間 + ago

④ S have[has] been + 形容詞 + for + 時間

例題 『彼が亡くなつてから3年になります』

① It is[has been] three years since he died.

② Three years **have passed since** he died.

③ He died three years ago.

④ He has been dead for three years.

4. 「太陽の光を利用した装置が化学の課題で高校生のグループによって開発された」

▶ be動詞の後に続く形として不自然でないのは、受動態をつくる過去分詞形の(B)のみ。

5. 「トモコは多くの人の前で話をするのを怖がっていた」

▶ 前置詞の後には動名詞形が来るので、(C)が適切。

□ **be terrified of doing** 「～するのを怖く思う」

Lucy **was terrified of losing** her job.

(ルーシーは仕事を失うのではないかと怯えていた。)

6. 「ありがとう、ヒロミ。この本はちょうど僕が欲しかったものだよ。」

▶ be動詞isの後に先行詞がないので、(B),(C),(D)は使えない。使えるのは(A)のwhatのみ。what=the thing(s) which

関係代名詞whatの基本用法

関係代名詞whatは「～すること[もの]」という意味を表し、先行詞なしで使う。whatの導く節は名詞節で、文全体の主語や目的語、補語になる。

- (1) What worries me is the result of the exam. [文の主語]
- (2) They couldn't believe what they saw. [believeの目的語]
- (3) This watch is just what I wanted! [This watchを説明する補語]
 - (1) 私を不安にさせるのは、試験の成績のことだ。
 - (2) 彼らは自分たちが見たものを信じられなかった。
 - (3) この腕時計はまさに私が欲しかったものだ。

7. 「まだ、もう少し氷を買わないといけない。パーティに必要なその他のものはすべて用意ができているよ」

▶ other than ~で「～以外の」の意味。more than ~は「～より多い」という意味で、文脈にそぐわない。

□ **other than** ~「～以外の/～とは別の」

Did anybody *other than* Jim see her?

(ジム以外にだれか彼女を見たか。)

The result was quite *other than* we had expected.

(結果は予想したものとはまったく異なっていた。)

□ **more than** ~「[数詞の前で]～より多い」

The book weighs *more than* two kilos.

(その本は2キロより重い→2キロちょうどは含まない)

8. 「私はこの頃めったにアメリカを訪れない。その代わりに、たいてい、オーストラリアへ行く」

▶ instead「その代わりに」という言葉と、usually「普通は、普段は」という言葉があるので、アメリカへはほとんど行っていないことがわかるので、(D)のseldom「めったに～ない」が適切。

▶ (A)almost「ほとんど」,(B)always「いつも、(今まで)ずっと」,(C)nearly「もう少しで」

□ **seldom[rarely]** 「めったに～ない」〔頻度がほとんどない〕

▶ 何かをする回数がほとんどないことを表す副詞。準否定語なのでnotを付け加える必要はない。seldomはやや堅い語。rarelyのほうが口語的。

England has *seldom* won the World Cup.

(イングランドがワールドカップで優勝したことはめったにない。)

I *rarely* listen to classical music.

(私はめったにクラシック音楽を聴きません。)

9. 「ディナーはとても美味しかったが、ウェイターが請求書を持ってきたときにはショックを受けた」

□ **present A with B** 「AにBを贈る/AにBを提出する」 (= **present B to A**)

The company *presented* him *with* a gold watch for his retirement.

(会社は退職祝いに金時計を彼に贈呈した。)

We were *presented with* a difficult choice. [受動態]

(我々は難しい選択をつきつけられた。)

10. 「英語クラブ、国籍にかかわらず誰でも入会を歓迎します」

▶ regardless of ~「～にもかかわらず」(A)のregardingと(C)のwith regard to ~はどちらも「～に関して」の意味である。

□ **regardless of** ~「～にもかかわらず/～にかまわず」 (= **in spite of** ~)

Regardless of age or [^and] sex, everybody can apply for the contest.

(年齢、性別に関係なく誰でもコンテストに応募できます。)

11. 「新しいテレビは素晴らしいものであるだろうが、今あるテレビがまだ映るのに、そんなにお金を使わなければいけない理由がわからない」

▶ justifyは「～を正当化する」という意味。justify spendingを直訳すれば、「お金を使うことを正当化する」となる。(C)のaffordは後に動詞が来るときは、afford to do「～する余裕がある」の形で使う。

□ **justify doing** 「～することを正当化する」

How can you *justify killing innocent people?*

(罪のない人を殺すことがどう正当化できるっていうんだ。)

12. 「左利きの子供に無理やり右手を使わせるのはあまり良い考えではない」

▶ この文は、It is ~ to do. の**形式主語構文**で、force A to doで「Aにむりやり～させる」の意味。(B)のmakeは、目的語の後が原形になるので、不適。

□ **force[compel] A to do** 「(強制的に)Aに～させる」 (= **make A do**)

We were forced to work hard. [受動態]

(我々はひどく働かなければならなかった。)

His illness compelled him to stay indoors.

(彼は病気のため家に閉じこもっていなければならなかった。)

cf. My mother made me wait outside the store.

(母は私をその店の外で待たせた。)

形式主語のit

不定詞句やthat節が主語として用いられる場合、**主語の位置にitを形式的に主語として置き**、眞の主語である不定詞句やthat節を述部の後ろにまわすことが多い。

It is true that time is money. (時は金なりというのは本当だ)

形式主語

眞主語

(1) It is fun to meet new people. (初めての人と会うのは楽しい)

眞主語

(2) It is important that you follow the rules. (規則に従うことは大切だ)

眞主語

13. 「船長は乗組員の安全に対する重い責任がある」

▶ (A)allow「～を許す」,(B)bear「～に耐える、(費用・責任など)を負担する」(C)endure「(苦痛・困難など)に耐える」,(D)suffer「(～に)苦しむ(from～)」

□ **bear a responsibility for** ~ 「～に対して責任がある」

cf. bear the responsibility for ~ 「～の責任を負う」

14. 「出発する前に、雨が止むまで待つようにジョンを説得しようとしたが、彼は聞く耳を持たなかつた」

▶ to waitの不定詞句につながり、意味が不自然にならないのは(A)である。persuadeは、persuade A to doで「Aに～するように説得する」の意味。(D)のdiscourageは、discourage A from doing「Aに～しないようにさせる」の形で使う。

▶ (B)argue「議論する」,(C)influence「～に影響を与える」,(D)discourage「～をがっかりさせる」

□ **persuade A to do** 「Aを説得して～させる」 (= **persuade[talk] A into doing**)

I could not persuade him to follow my suggestion.

(私の提案に従うようにと彼を説得することができなかつた。)

15. 「天然資源の不足を考えると、政府は風力エネルギーや太陽エネルギーにもっとお金を使うべきだと思う」

▶ natural resourcesで「天然資源」の意味。この意味で他の選択肢は使えない。

▶ (A)material「素材」,(B)oil「石油」,(C)resource「(~s)資源」(D)supply「供給」

□ **given** 「～を考慮に入れると」 (= **considering**)

▶ givenは前置詞または接続詞の働きをする。

Given the fact that I was tired, I managed to play the piano pretty well.

(疲れていたという事実を考慮すれば、私はなんとかかなり上手にピアノを弾いた。)

□ **invest in** ~ 「～に投資する」

cf. *invest in five different stocks* 「5つの会社の株に投資する」

16. 「エレベーターは故障中です。階段をお使いください」

□ **out of order** 「故障して」 ⇔ **in order** 「順調で/きちんとして」

The personal computer was *out of order* a little while ago.

(そのパソコンはしばらく前は故障していました。)

「out of + 名詞」の表現

out ofは「(通常の状態・範囲)からはずれて」の意味から『否定』の意味を持つさまざまなイディオムを作る。out ofとinが反意語を形成する場合が多い。

□ **out of date** 「流行遅れで」 ⇔ **up to date** 「最新の」

cf. *out of fashion* 「流行遅れで」 ⇔ *in fashion* 「流行して」 もほぼ同意。

□ **out of sight** 「見えないところに[の]」 ⇔ **in sight** 「見えるところに[の]」

□ **out of hand** 「手に負えない(で)」 ⇔ **in hand** 「支配[制御]して」

cf. *out of control* 「手に負えない」 ⇔ *under control* 「支配[制御]して」 もほぼ同意。

□ **out of place** 「場違いの/不適当な」 ⇔ **in place** 「適所に[の]」

□ **out of shape** 「体調が悪くて」 ⇔ **in shape** 「体調が良くて/健康で」

□ **out of the way** 「邪魔にならないところに」 ⇔ **in the way** 「邪魔になって」

□ **out of the question** 「問題にならない/不可能な」

17. 「マリコは毎日一生懸命働いているので、帰りの電車で眠ってしまいがちだ」

□ **have a tendency to do** 「～しがちである」

Bob *has a tendency to gain weight.* (= Bob tends to gain weight.)

(ボブは太りやすい体質だ。)

▶ (A)suggestion 「提案」 ,(B)philosophy 「哲学」 ,(C)recommendation 「忠告、推薦」 ,(D)tendency 「傾向」

18. 「あなたのところの窓を割ったのがうちの息子だったとはまったく気がつきませんでした。お詫び致します」

▶ (C)が正解。I was completely unaware that ~で「～ということにはまったく気がついていなかった」という意味。(B)のuncertain 「確信がない」 は意味的に不自然。(A)のunderstandingは、I am understanding that ~という表現も状況によってはありうるが、thinkやunderstandなどの状態動詞は基本的に進行形にしないので、不可。

19. 「私は声の感じでケンだとわかった」

□ **recognize A by B** 「BでAだとわかる」

I *recognized Jim by his step.*

(足音でジムだとわかった。)

⇒ recognizeの意外な意味として「(前から知っている人・物)をそれと気づく[わかる]」を押さえておこう。

20. 「ブロードウェイの演者たちは、歌が歌えるだけでなく、信頼できる役者でなくてはならない」

□ **A as well as B** 「Bと同様にAも」 (= **not only B but also A**)

He speaks Spanish *as well as* English.

= He speaks *not only* English *but (also)* Spanish.

(彼は英語だけでなくスペイン語も話す。)

▶ 主語として用いる場合、**動詞はAに一致させる**のが原則。

She as well as I is tired of the work.

(私だけでなく彼女もその仕事に飽きている。)